

令和8年度 学校経営方針について（保護者版）

校長 住 吉 豊

目指す学校像

- ・「楽しいと感じる授業の創造と、学力をきちんと身に付けさせる学校」
学ぶことの楽しさを実感でき、意欲をもって主体的に学ぼうとする授業を目指します。「わかる授業」「学ぶことが楽しい授業」「考えさせる授業」に取り組み、その中で学力や思考力をきちんと身に付けさせることを目指します。
- ・「人と人とのかかわりを大切にする学校」
クラス活動や委員会活動、部活動、奉仕活動、地域交流活動等、人とのかかわり合いを通して、集団生活のルールをきちんと身に付けさせ、互いを大切に思いやる心といった豊かな人間性を養うことを目指します。
- ・「喜びや感動を実感し、充実感を味わえる学校」
集団の中で自身の力が生かされ、認められる喜びや感動を実感させることで自己肯定感を高めることを目指します。
- ・「地域と連携・協力を深め信頼される学校」
七小・九小と連携し、9年間を通して学習、生活面の伸長を図ります。コミュニティ・スクールとして、地域の方々の協力も得ながら、地域に根差した学校、地域に愛される学校を目指します。

1 豊かな心の育成に向けた取組

- ① 道徳の充実を図り、人権尊重の精神や豊かな心の育成を目指します。
- ② 生徒会を中心に、自らが考えて正しい判断・行動ができる生徒。互いを思いやる事ができる生徒の育成を目指します。
- ③ 行事や部活動等の取組を通して、達成感、充実感を味わわせ、自己肯定感を高めます。
- ④ 職場体験学習や会社訪問、高校生の話を聞く会等の活動を通して、働くことや進路について学びます。

2 学力の向上に向けた取組

- ① 数学・英語においては、少人数指導による学習を実施。TT 学習支援員のサポートを得て、個々の生徒に目を配り、きめ細かい指導を目指します。
- ② 放課後学習教室や夏季休業中に学習教室を実施し、生徒の意欲的な学びを応援します。
- ③ 1人1台PCやICT機器を授業に活用し、意欲の向上とわかりやすい授業を目指します。
- ④ 朝の時間は5教科の学習や読書活動に取り組み、基礎学力の定着を図ります。
- ⑤ 生徒の主体的な深い学びを目標に、探究的な学習に取り組みます。

3 生活面への対応に向けた取組

- ① 不登校、いじめ、問題行動等については、情報の共有と対応を協議し、家庭と連携して早急に対応します。必要に応じて子ども家庭支援センターや児童相談所等の外部機関とも連携、支援を仰ぎます。
- ② 1年生は全員カウンセラーと面談をおこないます。生徒の悩み等の相談に対応します。（週2日勤務）
- ③ 不登校等の学校に来づらい生徒の居場所として、校内にサポートルームを用意し、チャレンジクラスという名前で、週に3日サポートします。※火曜日、木曜日雨宮先生。もう一日武田先生来校。
- ④ 「五中生徒憲章」を柱に、自ら考え、正しく判断し行動できる生徒の育成、指導を目標にしています。今後もきまりについて生徒と共に考えていきます。

4 コミュニティ・スクールとして、七小、九小、保護者、地域の方との連携を推進します

- ① 小学校と学習指導や生活指導の内容、考え方を共有して連携を進めます。
- ② 「出前授業」や生徒会による中学校生活の説明会等を通して、中1ギャップの解消を目指します。
- ③ 「夕涼み会」や「地域清掃」等の地域行事でのボランティア活動や、七小・九小の運動会の手伝い等、生徒の自主的な参加を推進します。
- ④ 「学校だより」や「HP」を通して情報を発信し、保護者・地域の方への理解が深まるようにします。